

令和4年度

NPO 美しい田園21 活動記録

1. 東北支部

耕作放棄地解消活動（大根栽培：播種作業）その1

令和4年8月23日(火)午前9:30から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO 法人美しい田園 21 東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の播種作業が行われ、24名(会員15名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO 法人美しい田園 21 東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、今年度の最初の作業として、播種作業を行いました。



播種作業



播種作業



耕作放棄地解消活動（大根栽培：土寄せ・消毒作業）その2

令和4年9月7日(水)午前9:30から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の土寄せ・消毒作業が行われ、16名(会員12名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、播種後に4回行うこととした消毒作業の1回目と大根をまっすぐに伸ばすため、周囲の土を株元に寄せる土寄せ作業を行いました。



消毒作業・土寄せ作業



土寄せ作業



耕作放棄地解消活動（大根栽培：消毒・除草作業）その3

令和4年9月14日(水)午前9:30から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の消毒・除草作業が行われ、16名(会員12名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、播種後に4回行うこととした消毒作業の2回目と生育の妨げになる雑草の除去作業を行いました。



消毒作業



除草作業



耕作放棄地解消活動（大根栽培：消毒・除草作業）その4

令和4年9月28日(水)午前9:30から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の消毒・除草作業が行われ、17名(会員9名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、播種後に4回行うこととした消毒作業の3回目と生育の妨げになる雑草の除去作業を行いました。



消毒作業



除草作業



耕作放棄地解消活動（大根栽培：消毒・除草作業）その5

令和4年10月13日(木)午前9:30から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の消毒・除草作業が行われ、13名(会員11名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、播種後に4回行うこととした消毒作業の最終回と生育の妨げになる雑草の除去作業を行いました。



消毒作業



除草作業



耕作放棄地解消活動（大根栽培：収穫作業）その6

令和4年11月10日(木)午前9:30から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の収穫作業が行われ、79名(会員40名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、今年度の最後の作業となる収穫作業を行いました



収穫・選別作業



収穫・選別作業



農地・農業用水等の資源保全活動（ため池の清掃作業）

令和5年3月14日(火)午前9:30から、宮城県仙台市若林区の大沼(おおぬま)において、農地・農業用水等の資源保全活動として、大沼周辺清掃美化活動が行われ、NPO 法人美しい田園 21 東北支部の会員 47 名が参加しました。

この活動は、仙台東土地改良区の農業用水源の一つである「大沼」において、仙台東地区管理体制整備協議会(仙台市、宮城県、宮城県土地改良事業団体連合会、仙台東土地改良区)が主催して開催されたもので、NPO 美しい田園 21 東北支部も協力参加し、水質保全・生態系保全等を目的として、大沼ため池の清掃活動を行いました。



【清掃作業状況】



2. 関東支部

令和4年度 第1回御前山ビオトープ育成活動

令和4年6月1日(水)午前 9:30から御前山ビオトープ(ビオトープ内の希少種周辺の草抜き・草刈り等)で行われた、御前山ダム環境センター主催の御前山ダムビオトープ育成活動に56名(うち会員44名)参加しました。

本活動は、御前山ダム建設時にダム周辺に生育していた希少種を移植した御前山ビオトープについて、これまで毎年2回の育成活動を実施しておりました。

今回は池の植生や漏水問題、水路の老朽化など顕著で、最下流まで水が届いていない状態だったことから、これらの対策を取ることとしました。

具体的には、希少種周辺の草抜き・草刈り、取水口・用水路の補修、畦の漏水補修などをグループに分かれて作業を行いました。

作業の初めは、希少種と雑草の区別がつかなくなかったりと、戸惑いもありましたが、草抜きの手作業グループと草刈り機の機械化作業グループで、広いと思っていたビオトープもあっという間にきれいになりました。

参加者による草刈り作業状況等



令和4年度 第2回御前山ビオトープ育成活動

令和4年 11 月 9 日(水)午前9:30から御前山ビオトープ(ビオトープ内の希少種周辺の除草・水路整備等)で行われた、御前山ダム環境センター主催の第 2 回御前山ビオトープ育成活動に 60 名(うち会員47名)参加した。

本活動は、御前山ダム建設時にダム周辺に生育していた希少種を移植した御前山ビオトープについて、これまで毎年2回の育成活動を実施しており、今回も地元関係者と田園 21 関係者60名が集まり、作業を行いました。

今回はビオトープだけでなく、ダム湖周辺の整備も行ったため、各作業班に分かれて活動しました。ビオトープでは、取水施設の整備・補修、用水路内の石礫除去等、ビオトープ内の除草など。ダム湖周辺では、ダム湖畔の雑木の伐採や草刈り、ダム湖周遊の遊歩道での清掃活動を行いました。

参加者による作業状況等



3. 北陸支部

「第43回福島潟クリーン作戦」

令和4年4月9日(土)午前 9:00 より福島潟(新潟市北区前新田地内)で行われた、福島潟環境保全対策推進協議会(3市3土地改良区1漁協)主催の「福島潟クリーン作戦」に約600人(うち会員8人)が参加しました。

この活動は、福島潟の自然にふれながら不法投棄等のごみ類を回収する活動を通じ、自然の大切さと環境浄化に対する意識の高揚と啓発を目的に今年も開催されました。

当日は桜の開花には早いものの暖かな晴天に恵まれたことから、早い時間から家族連れや、学生等の若者達や、地方公共団体・企業など関係諸団体が続々と集結する中、密にならない様にと誘導する主催者側アナウンスが会場周辺に響き渡っていました。

今回はコロナ禍での清掃活動の為、恒例の全体集会もなく、受付を済ませた順に早々活動場所へ移動して、昭和40年代に造成された国営事業干拓地を中心に清掃活動が展開されました。

作業は参加者による陸上からの清掃と、漁船十数隻による主催関係者の水上作業との連携によって効率よく進められました。この結果、活動エリア内のゴミの仮置き場は瞬く間に一杯になる状況であり、活動時間は概ね1時間強で終了しました。

生憎今年には石川県の河北潟清掃活動と重なった為、金沢市方面からの参加者は少ない状況でした。活動に参加された皆さん大変ご苦労様でした。高い意識で来年もお会いしましょう！



作業直前の集合写真(NN 事業関係者)



受付前の集合状況



水上部での清掃活動の状況



陸上からの清掃活動の状況

亀田郷一斉清掃活動

令和4年6月5日(日)午前9:00から亀田郷地区(地区内13箇所ですべて同時に実施され、当会員は親松排水機場周辺に参加)で行われた亀田郷不法投棄対策連絡協議会(事務局:亀田郷土地改良区農村整備課)主催の亀田郷一斉清掃に地区内全体概ね 1,000 人(うち親松排水機場周辺 4カ所で計約120人、当会員は3人)参加しました。

急速に都市化が進行する亀田郷地区では、リサイクル法施行直後の平成10年頃から家庭大型ゴミを中心にゴミの不法投棄が顕在化し、地域の環境疎外や、営農の支障となっておりました。特に住宅化が進行する親松排水場周辺では、施設能力の発揮や維持管理の面で大きな問題となっておりました。この為、対策連絡協議会が結成され、平成16年から自治会組織やボランティア、地域住民によって地域内一斉の清掃活動が毎年この時期に展開されて来ました。(コロナ禍もあり過去2カ年は未開催)

活動当日は心配された天気も活動には支障なく、親松排水機場前の公園には多くの参加者が集結しました。感染防止の観点から主催者の挨拶や、作業内容及び注意事項を受ける活動前段の全体集会がないまま早速、約2km弱の基幹排水路の公道沿いの清掃活動が行われました。

近年の美化意識の高揚もあり、回収されたゴミの量は年々減少しているようですが、コンビニ袋や、タバコの吸い殻そして、家庭用ゴミの不法投棄が目立ちました。参加された当会員の皆様大変ご苦労様でした。清掃活動は地味ですが、環境保全の大きな輪の為、来年も参加しましょう！



集合写真



会員参加者



清掃活動



回収ゴミ

柏崎周辺地区(完了) 後谷ダム草刈り作戦

令和4年6月12日(日) 午前8:00から新潟県柏崎市西山町別山で行われた、後谷ダムの地元・後谷集落主催の国営事業柏崎周辺地区(完了)で造成された後谷ダム草刈り作戦に13人(うち会員は2人)参加しました。

当該活動は土地改良区からの委託を受けて、後谷ダムの地元集落が毎年2回行っている草刈り作業(作戦)に対する支援活動です。この草刈り作戦は平成20年にダム湖の初満水を記念して、ローソクの灯でダムをライトアップする“万灯会(マントウエ)”開催の前段作業として、当時の関係行政機関の指導の下で行われて来ました。

“万灯会”はその後、7回の開催を数え、夏の風物詩になりましたが、残念なことに平成27年に主導機関の事情や、諸調整の不調から中止されるに至りました。

この“万灯会”の中止に伴い、前段に実施していた草刈り作戦も関係する行政機関、地域の諸団体や、職員 OB 会が草刈り作戦から撤退しましたが、従来から後谷ダムを“地域の財産・シンボルと位置付けて来た地元・後谷集落が草刈り作業と施設管理の一部を担って現在に至っております。この集落が行う草刈り作業に対して当初、事業やダム工事に携わった人など種々の思いを持った NPO 会員が自主的に参加して来た中、昨年に“北陸 NPO の活動”として認可された活動です。

作業は、管理棟直下の“紫陽花”畑周辺を草刈り鎌で女性軍が、堤体等法面部や狭い場所を人力草刈り機で男性軍が、そして水平箇所を効率の良い乗用草刈り機が行うという作業分担で、手際良く作業展開され、昼には事故もなく無事に終了しました。

当日の天候は曇りでしたが心配された降雨もなく、紫陽花が開花する中で行われました。作業中には時折り湖面を渡ってくる涼風に疲労感が和らぎ、2回の休息時には地元の人達の熱い地域思いで心癒されて、コロナ禍の閉塞感が払拭される感覚になるなど、久しぶりに達成感・満足感いっぱいの活動でした。大変ご苦労様でした。

□紫陽花が開花する中での作業



□筋金入りの大伏会員



□堤体下流部法面の作業



□集合写真(作業終了時)



□綺麗になった堤体下



柏崎周辺(完了)地区 後谷ダム草刈り作戦 (2回目)

令和4年9月4日(日)午前8:00から新潟県柏崎市西山町別山で行われた、後谷ダムの地元・後谷集落主催の後谷ダム草刈り作戦に10人(うち会員は2人)参加しました。

本活動は地元集落が毎年2回行う国営造成施設・後谷ダムの草刈り作業である。平成27年から7年間に亘り、農政 OB 数名が種々の立場や、思いで自主的に参加・支援して来たことが評価され、昨年からは NPO 田園21北陸支部の認定を受けている活動です。

活動当日は、前日迄の長雨がすっかり上がり、残暑の厳しい炎天下、無風状態の中で行われたことから、まるで蒸し風呂の中と思われる作業となりました。

作業は今季の長雨によって伸び放題の草が雑草に絡まっている為、例年以上に作業効率が悪く、時間と労力を要する作業になりましたが、皆さん怪我をすることなく予定の時間に作業が完了しました。

本活動に遠く石川県珠洲市から駆け付けて頂きました大伏会員。大変ご苦労様でした。

活動前の堤体下流部(活動前)



綺麗になった堤体下流部(活動後)



坂井北部地区「耕作放棄地再生活動」

令和4年10月12日(水) 午前8:30から福井県あわら市二面地内で行われた、坂井北部丘陵土地改良区主催の坂井北部地区耕作放棄地再生活動に60人(うち会員は6人)参加しました。

本活動は平成21年度から、坂井北部丘陵土地改良区が高齢化等により耕作放棄された農地の再生を目的に再生活動を関係機関に呼びかけ、農地の再生を図るとともに再生された農地を活用し、将来を担う子供達(保育園児)とともに作物の作付・収穫を行い、農業体験を通して情操教育の発展に期する目的のため行って活動である。

本活動に平成22年から NPO 美しい田園21北陸支部も参画し活動を展開してきたところであるが、対象者が幼児と言うこともありここ数年コロナ禍のため、県外からの参加者制限をしてきたが、コロナ禍が落ち着いてきたことから、今回の収穫活動は、人数を制限しながら県外からの参加者も可としてきたところ です。

また、コロナ禍前までは、市内の公立保育園である「あわら子供園」と「金津子供園」の5歳児(年長児)を隔年で招待しながら開催してきたところですが、隔年で招待すると作付けも収穫も行わないまま卒園する幼児も生ずることから、近年は、両子供園を対象に実施することとしてきている。

このため、今回も「あわら子供園14名」と「金津子供園22名」を対象に、9時からと10時30分からのダブルヘッダーで収穫が行われました。



当 NPO 北陸支部からは、厳選された6名の参加を得、自宅やこれまでの参加で得られた技術を余ることなく発揮し、子供たちが掘りやすいよう予めスコップで掘り起こしを行いました。あちこちで土を掘る音に混じり、ザックツとかギシツとか土音以外の音が聞こえ、そのたびに「アツ」とか「ギャツ」とか「やっちまった」反省の擬音がわき上がっていました。

その後、芋掘りを始めると子供たちが離ればなれになったサツマイモや、ざっくりと切り裂かれた芋を悲しそうな顔で持ってきました。

子供たちには、「食べるときは、包丁で切らないと食べられないから大丈夫だよ」と諭しつつ頑張って掘ってくれたおかげで、大量の芋を収穫することができました。



大きい物から小さな物まで大量の収穫です

参加した会員たちも久しぶりの活動で少し力が入ってしまいましたが、流石にダブルヘッダーは、平均年齢の高い NPO 会員たちは、きつかったようです。



久しぶりに顔を合わせました



子供たちの芋掘り前に畝をほぐします



どの子供園の園児も元気です

西蒲原地区クリーン作戦

令和4年10月23日(日) 午前9:00から新潟県西蒲原地区で行われた、水土里ネット西蒲原主催の西蒲原地区クリーン作戦に総勢約400人(うち会員15人)参加しました。

朝から時折強い雨が降る不安定な天候でしたが、第17回西蒲原クリーン作戦が、西蒲原地区内6箇所に分かれ一斉に開催されました。

活動中の降雨が心配される中、各会場には活動開始の9時に前には続々活動家が集結し、ここ七穂排水機場には寒い中、約90名が集合し、主催寄りの挨拶、連絡事項を受けた後、早速、機場周辺や排水路堤防(県市道)の清掃活動が展開され、ペットボトル、空き缶、タバコの吸い殻などがつぎつぎに回収されておりました。

昨今のコロナ禍に加え生憎の天候状況もあって、例年見られる家族連れや、子供の姿が少ない様でしたが、参加者の熱意が感じられる地域貢献活動でした。

活動前集合写真(七穂排水機場)



参加受付の様様



主催者挨拶



活動状況(七穂排水路)



4. 東海支部

矢作川用水地区（西尾幹線水路）の除草・清掃活動

令和4年10月19日(水)午前10:00から矢作川用水地区西尾幹線水路(アイシン南エリア)の用水上部及び排水路周辺部で行われた、草刈、枝払い、除草などの清掃活動に43名(うち会員32名)参加しました。

活動実施場所の西尾幹線水路(アイシン南エリア)は、新矢作川用水農業水利事業により老朽化した施設を改修した農業用水路です。改修による用水路の暗渠化によりゴミ投棄などの防止が図られましたが、排水路への土砂流入・暗渠化により雑草やツル草等の繁茂などにより景観が損なわれていました。

また、景観に配慮し植えられたアジサイの防草シート劣化により張替えを行うため、シート撤去が必要になっていました。

朝は肌寒く感じる状況でしたが、快晴に恵まれ活動中は汗ばむ中での作業となりました。昨年より参加者が10名近く増えて作業は捗りました。刈り取った草などは土地改良区の協力のもと軽トラックで処理場に搬出しました。



草刈り作業状況



草の繁茂状況



草刈り完了状況



防草シート撤去作業状況

西濃用水地区揖西幹線水路の清掃活動

令和 4 年 10 月 28 日(金)午前 9:50 から岐阜県安八郡神戸町地内で行われた西濃用水地区揖西幹線水路の清掃活動に 35 名(うち会員 27 名)参加した。

西濃用水揖西幹線水路は、国営西濃用水事業によって整備された、岐阜県西濃地域を流れる用水路です。今回清掃活動を行った箇所では、並行する県道(河川堤防道路)から捨てられた紙屑・空き缶や水路沿いの雑木繁茂など、地元改良区の管理でも処理に苦慮している状況でした。当日は秋晴れの中、上流・下流の 2 班に分かれて、通行車両に気を付けながら水路沿いの約 2 k m の間に散らかったゴミを拾い集めました。また、水路沿いの雑木伐採を行い、ゴミは、可燃物・不燃物に分別して、近くの集積場所に運び込みました。

今回で 8 回目となる西濃用水地区の清掃活動は、地元にも周知されて定着しており、参加者の協力によって無事に活動を終わることができました。



水路管理者の挨拶



水路沿いのゴミ拾



収集ゴミの分



水路沿いの伐

宮川用水地区 齋宮調整池周辺の除草・清掃活動

令和4年11月16日（水）午前10：00から三重県多気郡明和町（齋宮調整池周辺）で行われた、宮川用水地区 齋宮調整池周辺の除草・清掃活動に79名（うち会員35名）参加した。

齋宮調整池は、国営宮川用水第二期事業（H7～24）で造成された貯水量200万 m^3 の調整池で、周辺は散歩コースとして地域の住民に活用されています。

本年度の活動は、齋宮調整池及び施設用地の堆積土砂撤去及び除草（草刈り）・清掃活動で、広い範囲を対象としたため4班に分散して作業を行いました。

今年もコロナ禍ということもあり、マスク着用又は間隔確保で感染防止対策を図りながらの作業となりました。当日は天気に恵まれ、多くの皆さんが遊歩道を利用されており、作業中にジョギングをされている方から感謝の声を掛けられるなど、地域の環境保全に役立っていることが実感できました。



A 班：齋宮調整池・遊歩道の草



B 班：本堤土砂吐部の堆積土砂



C 班：施設用地・法面の草刈



D 班：施設用地・側溝の堆積土

明治用水地区明治本流水路の除草・清掃活動

令和4年9月27日（火）午前 9:30 から愛知県豊田市永覚町高根地内で行われた明治用水地区明治本流水路の除草・清掃活動に 49 名（うち会員 38 名）参加した。

明治用水は、愛知県西三河地域を流れる用水路で、国営矢作川総合用水事業によって改修されました。改修を契機に側道も整備され、地域の人たちの通学や散歩などにも利用されています。

今回の実施個所は、夏の間、草が繁茂して水路の管理に支障があるばかりでなく、見通しが悪く景観を損ねていたため、除草を行うこととしました。

今年も「明治用水土地改良区建設協力会」と共同で作業を行うこととし、作業分担などを決めて清掃を実施しました。

今年もコロナ禍の活動で、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保を行いながらの作業となりましたが、昼前には無事作業を終えることができました。



作業前の状況（中流）



作業後の状況（中流）



作業前の状況（下流）



作業後の状況（下流）



作業中の状況（下流）

中勢用水地区大谷池調整池の除草・清掃活動

令和4年 10 月4日(火)午前 10:00 から三重県津市河芸町三行地内で行われた中勢用水地区大谷池調整池の除草・清掃活動に 41 名(うち会員 34 名)参加した。

大谷池調整池は、安濃ダムから取水された用水が南北分水工から北部幹線水路、国営の末端に位置する調圧水槽を経て、県営河芸支線水路の中間に位置するため池です。

昨年に引き続き、本調整池の本堤、副堤の法面及び管理用道路周辺の除草作業を行いました。新型コロナウイルス感染者数が縮小傾向にある中、昨年を上回る参加者がありました。

当日は熱中症が危惧されるほどの残暑が厳しい中、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止対策を図りながらの作業となりましたが、当初予定していた作業範囲の除草・清掃を無事終えることができました。



調整池正面の法面(作業前)



調整池正面の法面(作業後)



管理用道路(作業前)



管理用道路(作業後)

5. 近畿支部

令和4年度 「北淡路地区 クリーン活動」

令和4年6月18日(土) 午前10:00より常盤ダム(堤体法面、湖畔、揚水機場、周辺道路、親水公園)で行われた水土里ネット北淡路主催の北淡路地区クリーン活動に79名(うち田園21会員9名)参加した。

常盤ダムは、北淡路農地開発事業により造成された施設で、ダム湖周辺の造成団地では、ブドウ栽培が盛んに行われています。本活動は今年で9回目となります。梅雨の中でしたが何とか天候に恵まれ、午前中の短い時間参加された皆さんは5班に分かれて各施設の草刈りに汗を流しました。作業終了後、参加された方々全員が親水公園東屋に集合して、主催者から設置後の太陽光発電施設の効果等について環境学習を受けました。



門理事長挨拶



集合写真



参加者による草刈り作業



参加者全員による環境学習

第31回（令和4年度・春）「丹後国営大クリーン作戦」

令和4年5月28日（土）午後1時から京都府京丹後市大宮町奥大野（奥大野団地）で行われた「丹後国営大クリーン作戦」に26名（会員10名）参加した。当日は奥大野団地の貯水池の草刈り作業及び幹線道路沿いのゴミ拾いを実施した。

「貯水池の草刈り作業」



「幹線道路のゴミ拾い活動」



大和高原北部地区」環境美化運動

令和4年6月11日(土)午前9:00から上津ダム及びダム湖周辺(奈良県山辺郡山添村)で行われた大和高原北部土地改良区主催の環境美化運動に199名(うち会員6名)参加した。

コロナ禍により参集範囲を限定しているとはいえ、今年も約200名の関係団体からの参加があり、朝早くから上津ダムに集まってきました。草刈作業には適した薄曇りの天気の中、感染拡大防止の取組みが引き続き求められていることから、挨拶、作業説明、集合写真等を省略し、受付を済ませた後、各々割り当てられた作業場所へ移動し作業が始まりました。

例年、ダムサイト法面での繁茂した草刈作業は、広範囲、急斜面、長大であることから、草刈作業に慣れた人でも時間を要することとなるのですが、割り当てられた場所での作業を終えた人の応援もあり、時間内に終了することが出来ました。

清掃活動でたっぷり汗をかいた後は、他の地域ではなかなか飲めない奈良県産の茶葉を使用したお茶の甘みを感じる「やまと茶」ドリンクを美味しくいただくことができました。



ダム右岸法面草刈作業状況



土舞台公園草刈作業状況



管理所周辺草刈作業状況



集積作業状況

第9回 亀岡地区 施設管理支援活動

令和4年8月28日(日)午前 9:00より亀岡市河原林町四ノ宮池(上池・下池)で行われた、亀岡市川東土地改良区主催の亀岡地区施設管理支援活動に32名(うち会員27名)参加しました。

亀岡地区での活動は、コロナ禍により3年ぶりの実施となりました。当日は曇りで風が少し吹き作業するには最適な条件でボランティア活動が行われ、四ノ宮池(上池・下池)の堤体法面の草刈り及び立木伐採作業で、池別に2班に分けて実施をしました。

ため池法面の草刈りでは、長雨の影響もあり草丈が腰ぐらいまであり、不安定な状態での作業でした。立木伐採は、池面に近い所での作業であり、足元に注意しながら実施しました。熱中症対策もあり、予定範囲の作業が完了できましたので、早めの活動終了となりました。



草刈作業中(上池)



草刈作業中(下池)



伐採作業中



草刈完了

令和4年度第2回呑吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業

令和4年9月10日(土) 9:00より呑吐ダム(桜並木「水土里の路」公園保全の草刈り)で行われた東播用水「水と緑の交流」実行委員会(水土里ネット東播用水、川代ダム域水管理協議会他)主催の呑吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業に95名(うち会員68名)参加しました。

東播用水「水と緑の交流」実行委員会は、国営東播用水事業の完了(平成4年度)を契機として、事業の意義と効用について広く地域住民への理解を深め、水源地域の人々と、水を利用する人々の交流の促進を図ることを目的として発足しました。その目的の一つとして、桜並木「水土里の路」公園管理作業が行われています。

国営東播用水二期事業の完了年度であった昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域貢献活動として実施されませんでした。2年振りの開催を待ちわびた参加者により、安全に作業を終えることができました。来春、呑吐ダム(つくほら湖)に満開となった桜並木の映える風景が待ち遠しいです。

(参加者による草刈り作業状況)



令和4年度 永源寺ダム湖岸クリーン作戦

令和4年10月14日（金）13:30から永源寺ダム湖岸（右岸網場周辺～堤体）で行われた愛知川沿岸土地改良区主催の永源寺ダム湖岸クリーン作戦に179名（内会員77名）参加した。

今年は天候にも恵まれ、新型コロナウイルス感染症対策により3年ぶりの参加となりました。今年の作業は雨の影響によりダム水位が高かったことで、流木が高い標高に漂着されており、流木を搬出するのに一度中間まで出して、それを湖面まで搬出する2回の作業が必要になりました。特に網場上流部では、太い長い流木が多くあったことで、全て搬出することはできなかった。湖面まで搬出した流木は焼却して作業が終了しました。



作業着手前（流木漂着状況）



搬出作業状況



焼却作業状況（堤体付近）



焼却作業状況（網場付近）

丹後国営大クリーン作戦

令和4年11月5日(土)13時より京都府京丹後市網野町(丹後東部地区 島津2団地)で行われた第32回(令和4年度・秋)「丹後国営大クリーン作戦」に19名(会員6名)参加した。

この活動は、島津2団地のファームポンド及び道路沿いの草刈り作業、ゴミ拾い活動を行うものである。

「ファームポンド及び道路沿いの草刈り作業」



「ファームポンド及び道路沿いのゴミ拾い活動」



『蔵王ダムクリーン作戦(グラウンドワーク in 蔵王ダム 2022)』

令和4年 11 月4日(金)に水土里ネット日野川流域主催による蔵王ダムクリーン作戦が滋賀県蒲生郡日野町蔵王(蔵王ダム)で開催され、104 名(会員 4 名)の参加がありました。今年は、新型コロナの影響で3年ぶりの開催となりましたが、沢山の参加者が集まりました。

滋賀県日野町にある「蔵王ダム」は鈴鹿山脈の南西「綿向山」の麓に位置しており、綿向山は神を祀る大衆の山で、標高 1,110mであることから、日野町ではその標高にちなみ、毎年 11 月 10 日を『綿向山の日』と設定しており、毎年、11 月 10 日前後に蔵王ダムクリーン作戦が開催されます。

当日は、ダム堤体を吹き抜ける風は少し冷たかったですが、晴天となりボランティア活動日和となりました。

作業範囲は、広大なダム堤体法面となりますが、コロナ禍のなかで開催できなかった年も改良区関係者の方々に作業されていたこともあり、例年程度の草でしたので多くの参加者により効率よく作業が進められ、時間内に作業を終えることができました。



集合写真



管理所横法面作業状況



堤体貯水池側法面作業状況



堤体下流側法面作業状況

令和4年度 一の木ダム周辺クリーンアップ作戦

令和4年11月5日（土）午前9:0より一の木ダム周辺（ダム堤体周辺、周回道路）で行われた五條吉野土地改良区・五條吉野基幹水利施設管理協議会主催の一の木ダム周辺クリーン作戦に103名（内会員77名）参加した。

今回の活動は、例年の作業（ダム左岸法面の草刈、ダム天端道路清掃、周回道路のごみ拾い）に、周回道路の泥上げ作業が追加されました。泥上げ作業は、ダム周回道路を4班に分けて行われ、当日の晴天のため汗をかきながらの作業となりましたが、概ね時間内にすべての作業を無事終えることが出来ました。作業後は、柿選果場に立ち寄り、五條市特産の柿をお土産にされる方も多くいました。



ダム左岸法面の草刈り



ダム天端道路



周回道路の泥上げ



周回道路の泥上げ

東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 2022

令和4年11月19日(土)午前9:00から兵庫県丹波篠山市西谷地区内天満神社付近の里山で行われた、東播用水土地改良区(共催:東播用水水源地域景観・環境保全隊(東播用水水利調整協議会、東播用水二期地区国営土地改良事業促進協議会)主催の東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 2022 に30名(うち会員8名)参加了。

この活動は、上流・下流の交流を目的に、下流の自治体や土地改良区の職員等が、東播用水地区の水源地域保全活動に協力する10年目の活動となった。竹の伐採作業は、倒木を伴う危険な作業なので、NPO法人の指導者を班長に3班編成を行い、大きく成長した孟宗竹の手鋸伐採⇒人力引き出し⇒切断・集積作業を行った。

伐採作業



引き倒し作業 (Felling work)



引き出し作業 (Extraction work)



切断作業 (Cutting work)



第 20 回余呉湖クリーンアップ作戦

令和5年3月 11 日(土) 午前 10 時から滋賀県長浜市 余呉湖（湖岸及び同沿線道路）で行われた水土里ネット湖北主催の第20回余呉湖クリーンアップ作戦に 71 名(会員数 28 名)参加しました。

余呉湖は琵琶湖の北部に位置する天然湖で、国営湖北土地改良事業(昭和 40 年～昭和 62 年)により農業用水ネットワークの中心として再開発が行われた湖。美しい景観などから多数の観光客が来訪するが、湖岸等へのゴミの不法投棄が問題となっており、毎年、湖岸（周囲 6.4km）等において、関係団体と協力し、ゴミ収集活動に取り組む。今年度は全 71 名の参加があり、環境改善にも寄与する有意義な活動であることから、今後も継続していく方針。



沿線道路のゴミ拾い



湖岸ゴミ拾い



ゴミ（一部）収集状況

国営巨椋池地区地域貢献活動

令和5年3月14日(火) 午前9時から京都府宇治市填島町巨椋池干拓地幹線排水路で行われた巨椋池水辺プロジェクト、巨椋池土地改良区主催の国営巨椋池地区地域貢献活動に75名(会員数65名)参加しました。

昨年に引き続き開催に向け声を掛けましたところ、会員65名の方に参加頂きました。当日は晴天に恵まれたものの、前日の雨の影響で排水路の水量も多く、また、足元はぬかるみが残る中での作業となりました。作業開始時には肌寒さが残っていましたが、暖かい日差しの下、約2時間の作業でビン・缶・ゴミ等多数拾うことができました。

巨椋池干拓地は、京都市の南に広がる田園地帯。北隣には”燕のねぐら”として知られる淀川河川敷もあり、野鳥も多数見られる憩いの空間です。私たちの活動が、この空間の存続に繋がることを願っています。



6. 中国四国支部

面河ダム清掃活動（第1回）

令和4年7月30日(土)午前9:30から面河ダムで行われた道前道後土地改良区連合主催、愛媛県久万高原町協力の面河ダム清掃活動に128名(うち会員77名)参加しました。

当日は、あいにくの雨模様の天候ではありましたが、久しぶりの清掃活動開催で、主催者から、草刈り機の作業範囲に入らないこと、まむしに注意、水分補給をしっかりとること等の諸注意のあと清掃活動を開始しました。清掃は、立ち退きをされた住民の方々が、盆踊りや花火大会に使用していた、お祭り広場や広く一般の方が利用する運動広場、キャンプ場等多目的なブロックに分かれ、延べ面積は1ha以上あります。



参加者の集合写真



作業状況



作業状況



参加したNPOメンバー

奥出雲おろちシンコウ支援活動

令和4年7月30日(土)午前 10:00 から国営横田開拓八川第4団地で行われた地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に13名(うち会員12名)参加しました。

耕作放棄地対策に取り組んでいる団地において、蕎麦の種まき作業と周辺の草刈作業を行いました。当日は早朝から快晴で、うだるような暑さの中の作業となりましたが、無事所定の作業を終る事が出来ました。



蕎麦の種まき



種の攪拌



草刈り状況



参加したNPOメンバー

奥出雲おろちシンコウ支援活動（第2回）

令和4年9月17日（土）午前 9:30 から国営横田開拓八川第4団地で行われた地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に 16名（うち会員 15名）参加しました。

7月30日に種まきした蕎麦畑の除草作業等を行いました。蕎麦の茎丈は1m程度となり順調に生育しています。また、一面可愛い花畑に癒された1日となりました。10月には美味しい蕎麦の実が収穫出来る予定です。



除草作業



蕎麦



蕎麦の花



参加したNPOメンバー

面河ダム清掃活動（第2回）

令和4年10月1日(土)午前 9:30 から面河ダムで行われた、愛媛県久万高原町 主催、道前道後土地改良区連合協力の面河ダム清掃活動（第2回）に 51 名(うち会員 26 名) 参加しました。

今年第2回目の面河ダム公園周辺の清掃活動を行いました。清掃は、お祭り広場、運動広場、キャンプ場等のブロックに分かれ、延べ面積は1ha以上ありますが、参加者は草刈り機及び鎌で清掃活動を行いました。通常なら面河ダム周辺（面河溪谷）は紅葉が始まってもいいのですが、残念ながらまだ紅葉は見られませんでした。



開会式



作業状況



作業状況



参加したNPOメンバー

七区小学校出前授業

令和4年10月12日(木) 午前9:00から児島湾七区土地改良区主催の七区小学校出前授業に4年生児童22名他教諭2名、七区土地改良区2名、南区役所2名NPO会員5名が参加し、小学校をスタート、児島湖流域の用排水機場や用水路、干拓堤防を見学しました。

この活動は、21世紀土地改良区創造運動の一環として、地元小学生に既存する農業用施設を見学するとともに干拓の歴史等を学び、自分たちが住んでいる七区について知識を深める目的で、出前授業を行った。なお、この小学校は岡山市中心部に近く混住化が進んでおり、非農家の児童も相当数いるとのこと。

児童たちは、干拓の歴史は古く、江戸時代から順次行われていたことや昔の堤防を見てびっくりするとともに、これらの施設を土地改良区の人たちが一生懸命に管理していることを熱心に学んでいました。



説明状況



用水機場での見学



熱心に聞き入る児童



集合写真

2019 中海干拓地「安来工区」クリーンアップ作戦

令和4年10月15日(土)午前9:00から中海干拓地「安来工区」で行われた安来中海干拓営農連絡協議会及び安来市土地改良区主催の2019中海干拓地「安来工区」クリーンアップ作戦に78名(うち会員26名)参加しました。

島根県東部の安来市に位置し、国営中海土地改良事業として造成された干拓地のひとつ。他に揖屋工区、弓浜工区、彦名工区がある。

干拓地内では、「やすぎランニングフェスティバル 2022」が開催予定であり、関係機関と共同で、清掃活動を行いました。清掃範囲は、干拓地内全域と広範囲なため、参加者を団体ごとの4班に分け、草刈り作業、ごみ拾い作業を行いました。

このクリーン作戦は、平成17年より営農者が中心となって清掃活動を始め、今年で16年目となりますが、今年も、ごみの投棄が思ったほど多くなく、この活動が地域に理解されてきている証ではないかと感じました。



開会式の様子



参加者によるゴミ拾い



参加者によるゴミ拾い



参加したNPOメンバー

農村災害ボランティア活動について

令和4年 10 月 18 日(火)午前 10:00 からうしおの沢池及び流域にある水源林で行われた島根県土地改良事業団体連合会・沢池整備委員会主催の農村災害ボランティア活動に60名(NPO会員2名)参加しました。

平成 22 年農林水産省のため池百選に選定された「うしおの沢池」周辺の水源林保全活動として、ため池周辺と植栽地の草刈り作業を行いました。
うしおの沢池周辺を地域住民と都市住民の憩いの場とした、水辺の森として整備する保全活動が13年前から行われており、いろんな生き物がたくさん生息するように、ブラックバスを駆除し、テナガエビ、アマサギなどが放流されています。



植樹区域の草刈り



遊歩道の草刈り



山王寺の棚田



集合写真

令和4年度児島湖流域清掃大作戦

令和4年11月6日（日） 午前8:30から児島湖締切堤防会場他6箇所で行われた、児島湖流域環境保全対策協議会主催、（公財）児島湖流域水質保全基金、（公財）岡山県環境保全事業団共催の令和4年度児島湖流域清掃大作戦に2,059名（うち会員関係132名）参加しました。

児島湖流域の環境保全を推進いくことを目的に、毎年9月から11月を「児島湖流域環境保全推進期間」と定め、この期間の主要行事として、流域住民の理解と協力のもと、岡山県、国、流域関係市町（岡山市・倉敷市・玉野市・総社市等）、民間団体等が一体となり、児島湖及び流入河川等8箇所において一斉清掃等を実施し、県民の意識高揚を図ることとしています。実施日は、毎年11月の第一日曜日とされており、今年で36回目となります。

収集されたゴミは、約10トンでした。



開会式



参加者によるゴミ拾い



収集したごみ



参加したNPO会員

小阪部川ダム施設保全活動

令和4年11月10日(木)小阪部川ダムダム湖周辺で行われた、高梁川用水土地改良区主催の小阪部川ダム施設保全活動に54名(うち会員 41名)参加しました。

ダムは、小阪部川農業水利事業で造成された施設で、この地域は岡山県が「高梁川上流自然公園」に指定しており、美しい景観の保全保護が推進されているところでもあります。本活動は今年で12年目になります。天候にも恵まれ、ダム湖内のゴミ拾いや流木の回収を行い、心地よい汗をかきながら無事に作業を終えることができました。



主催者あいさつ



作業状況



作業状況



集合写真

7. 九州支部

坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第1回目）

令和4年5月27日(金)午前 8:30から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に13名(うち会員7名)参加しました。

この活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。本公園は、「第38回全国都市緑化くまもとフェア(くまもと花とみどりの博覧会:令和4年3月19日～5月22日)」のオープンガーデンにエントリーしていました。

今回は、遊水池約1haの葦等の機械刈りと、公園入口の手作業による除草でした。晴天に恵まれたものの、足元が泥濘み、歩くことも儘ならない中でのビーバー作業でしたが、巧みな足さばき、機械さばきで、安全に効率的に作業できました。休憩では、本活動を応援して下さるご婦人から、お茶、おにぎり、パンが振る舞われ、地域の皆さんと情報交換しながら、美味しくいただきました。ごちそうさまでした。地域情報誌の取材があり、掲載されましたら皆様にご紹介致します。

作業状況、作業前ミーティング、休憩状況



坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第2回）

令和4年7月16日(土)午前 8:30 から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に10名(うち会員7名)参加しました。

本活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。なお、主催者である坪井川遊水地の会(会長・中野正一氏)は、多年にわたる坪井川遊水地花公園における環境美化活動が認められ、今年6月に熊本県から第31回くまもと環境賞の「地域貢献賞」を受賞されました。

今回は、中野氏所有の山から掘り起こした花木(モミジ、ロウバイ、しだれ桜等)を遊水地の東側蓮池周辺に移植する作業で、当日は未明まで降り続いた雨もあがり、蒸し暑い中での作業となりました。まず、移植する複数の花木を手分けして地中で複雑に絡んだ木の根っこを格闘しながら掘り起こしを行いました。その後、軽トラで移植先近くまで運搬し、人力小運搬後、事前に掘削した穴に植樹を行い、午前中までに何とか作業を終了することができました。

この日は、途中で差入れられたスポーツドリンクが、体の隅々にまで染み渡りこんなにもおいしいのかと思えるほどの作業環境で、明日以降の筋肉痛が心配です。

移植した花木が、今後、公園を訪れる人々の目を楽しませるまでに成長することを願いたいと思います。

昨年度に整備した蓮池の前で(古代バスが見頃)



植樹作業

掘り起こし作業と掘り起こし花木



植樹後のモミジ(左)としだれ桜



坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第3回目）

令和4年8月11日(山の日)午前7:00から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に40名(うち会員6名)参加しました。

本活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、田園景観を維持しています。

今回の作業は、コスモスやヒマワリの周りに繁茂した夏草と隣接するフェンスに巻きついた寒根カズラ等の撤去作業でした。

当日は、朝から30℃を超える中、水分補給に気をつけながら、無事作業を終えました。また、昨年から整備してきた蓮池には、今年の2月に苗を植えた古代ハスが見事に開化しており、地域の皆様の癒しの場に成長していました。

蓮池の前で



夏草等の除去作業



作業終了



古代ハスの開花



坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第4回）

令和4年9月24日（水）午前8：30から熊本市北区高平地区（2級河川坪井川遊水地内）で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動5名（うち会員3名）参加しました。

この活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地（元水田）にある公園の景観整備に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。

今回は、株が大きくなり密集してきたガーベラの移植作業です。スコップで掘り起こした株を鍬等を使いながら小分けし、間隔を開けて植え付けを行いました。

彼岸花も咲き、少し汗ばむような陽気のもと順調に作業が進み、途中でいただいたアイスの小豆バーがとてもおいしく感じられました。

参加者の顔ぶれ



旧株の掘り起こし作業



移植状況



移植完了



坪井川遊水地公園環境整備支援活動（5回目）

令和4年 10月28日（金）午前 8:30から熊本市北区高平地区（2級河川坪井川遊水地内）で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動10名（うち会員6名）参加しました。

この活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内（元水田）にある公園の景観整備に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、田園景観が維持されているところです。

今回の主作業は、遊水地内約4,000㎡の刈り払い機による草刈りでした。現場は、凸凹でぬかるんでおり、足元の安全にも十分注意しながらの作業となりました。また、草刈り作業では葎にツルが絡んでいたことから、二段切等の職人技や時によっては力技が必要となり、秋晴れの穏やかな朝でしたが最後は汗だくの作業となりました。予定時刻には、無事に目標範囲を完了できました。なお、今後この場所をどのように整備するかは自治会長の頭の中に広がっているようなので、できる限り協力して行きたいと思えます。

小休憩の合間で



作業状況



作業状況



作業完了



旧玉名干拓施設（明豊・大豊潮受堤防）の草刈り活動

令和4年10月22日（土）午前7:30から熊本県玉名市の旧玉名干拓施設（明豊・大豊潮受堤防）（熊本県玉名市）で行われた、横島町文化財保存顕彰会主催の旧玉名干拓施設の草刈り活動に300名（うち会員128名）参加しました。

旧玉名干拓施設は、明治 20 年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に、熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設です。施設は、^{すえひろびらき}末広開、^{めいちゆうびらき}明丑開、^{めいほうびらき}明豊開及び^{だいほうびらき}大豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長は5.2kmにも及び、国の重要文化財にも指定されています。

本年度は、同施設の東側の明豊潮受堤防・大豊潮受堤防(2.4km)を対象に、除草作業が行われました。

今年も昨年につきコロナウィルス感染拡大防止のため当日はマスク等の着用も行った上で、早朝から集合し、各自持参した草刈り機、鎌などで、旧堤防に生えた雑草や雑木の除去、ゴミ拾い等を行いました。作業は秋晴れの空のもとで無事に済み予定時間内(9時まで)に対象範囲の草刈り活動を終えることが出来ました。

参加者の集合状況



草刈りの作業状況



草刈りの作業状況



草刈りの作業完了



坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第6回目）

令和5年2月17日(金)午前8:30から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第6回目)に9名(うち会員5名)参加した。

この活動は、熊本市内を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある空き地を景観・環境整備し地域の憩いの場として取り組んでいる地元自治会の活動を支援するものです。九州支部も数年前から本活動支援に参加しており、着実に環境整備が進み憩いの場に変貌していることを実感しているところです。

今年も複数回、行われる予定の最初の作業として、今回は高平台地内の竹林に自生する山椿の幼木(と言っても樹高5~6mくらい)を採取し、遊水地の護岸周辺の景観造成のため植樹する作業を行いました。

作業では参加者全員で、まず竹林に入り、比較的分かり易い場所に自生している椿の幼木の根株掘り作業から始まり、結果的にこの作業が今日一番の重労働でしたが、限られた時間で8本を採取し、所定の場所に植付けることが出来ました。

ただ、幼木の採取で、専門の植木屋と違い、根土がほとんど無い状態で植え付けた椿が無事、根が付き新芽が出ることを密かに祈りながら、又、来年以降、緑々とした葉樹の中に赤い花が見えていることを期待して遊水地を後にしました。

作業前余裕の参加者



力感の根株掘り



作業後の満足感



植付け全景

